



充実の2学期に！いろいろなことにチャレンジしよう。

台風の影響により、今週月曜日が2学期の始業式となりました。今年の夏休みは猛暑日続きで、お子様の体調管理も大変だったことと思います。夏休み中に大きな事故やけがの報告もなく安心したところでしたが、ご心配なことはなかったでしょうか？子どもたちが安心して学校生活をスタートできるように心配なこと等ありましたら、いつでも学校へご連絡ください。

さて、始業式の日には夏休みに取り組んだ図工や習字の作品、自由研究をまとめた模造紙などを手に登校する児童の姿が多く見られました。始業式はズームによるオンラインで行いました。子どもたちには、現在行われているパラリンピックに、男子車椅子バドミントン代表として出場されている梶原大暉（かじわら だいき）選手の話をしました。梶原選手は、中学2年生の時に交通事故にあい、車椅子での生活を余儀なくされました。野球の全国大会にエースとして出場する直前の事故だったということで、当時、梶原選手がどのような思いで日々を過ごされていたのかと思うと胸が痛みます。しかし、梶原選手は高校生になって車椅子バドミントンという新たな競技にチャレンジし、事故から6年後の東京パラリンピックでは金メダルを獲得されました。梶原選手の姿から、「くじけない心」「新たなことにチャレンジする心」「努力を続ける心」の大切さを学ぶことができます。子どもたちにも、「どうせ無理だ」「やっても無駄だ」などの心を捨て、まずはいろいろなことにチャレンジする2学期にしてほしいと思います。



【 夏休みに作った作品を手に 】

パラリンピック バドミントン代表
梶原 大暉 選手



- くじけない心
- 新しいことに挑戦する心
- 努力を続ける心

夏休み中もお世話になりました！

夏休み中にも保護者の皆様や地域の方々がたくさんのご協力をいただきました。休み最後の一週間は、地域の民生児童委員の方々による子どもたちの自学自習の見守り活動「楠すくすく寺子屋」教室が行われました。自学自習の見守りだけではなくいろいろな楽しい活動も準備していただきました。

また、24日には校区老人会の方々にボランティアで正門横の花壇などをきれいにしてもらいました。楠小に通う子どもたちが少しでも気持ちの良い始業式が出来るようにとの願いからです。また、校区老人会様から手作りの雑巾もたくさん頂きました。

このほかにも学校閉庁期間の花の水やりなどにもPTA役員の方々にご協力いただきました。おかげで気持ちよく2学期をスタートすることができました。



【 楠すくすく寺子屋の様子 】